



# からんころん便り

2014年11月号  
第44便

三島町観光協会『からんころん』から  
三島町民・三島ファンの皆さまへのお便り

## からんころんニュース

### ① 間方を満喫した体験ツアー&トレッキング大会



首都圏からの参加者10名が間方住民の案内で志津倉山を散策した2日間(糸屋旅館宿泊)。参加者から「三島町が大好きで何度来ても楽しくて、何度来ても飽きない」と嬉しい声が聞かれました。

50名が参加した志津倉山トレッキング大会も大成功!!

### ② 第3弾只見線利用促進ツアー



今回は浅草岳山麓のブナ林へのハイキングを行いました。小雨の降る天気でしたが、ガイドさんと共に紅葉の森散策を楽しみました。

### ③ 日本で最も美しい村連合総会で三島町PR



連合総会の会場にて三島町の観光PRを行いました。また、特産品の販売を行い、桐製品・編み組細工・会津地鶏商品が好評でした。

### ④ 東京新宿駅で2日間会津の物産展



会津地域の全市町村合同で会津の観光PRイベントを開催し、特産品の販売や会津の魅力を発信してきました。



## からんころん茶屋《11月》



日に日に寒くなりいよいよ奥会津の冬が到来ですね。今月から冬期限定の田舎けんちん蕎麦が始まります。寒い日には大根たっぷりのけんちん蕎麦がお勧めです。

日時	オーナー	メニュー
8・9日 11時～14時	みやした 蕎麦と豆腐の会	盛りそば、手作り豆腐 田舎けんちん蕎麦
22・23日 11時～14時	みやした 蕎麦と豆腐の会	盛りそば、手作り豆腐 田舎けんちん蕎麦

<第1・3週末のからんころん茶屋オーナー募集中>

区分	使用料金	概要
1階	1,000円	・使用料金の算定時間は一日 ・ガス代は実費
厨房	1,000円	



## 三島町関連のイベント情報



- 11/8～9 SL只見線紅葉号運行 (只見線)
- 11/9 おおたに新そば祭り (大谷活性化センター)
- 11/10 虫供養 (早戸地区)
- 11/22～23 田舎暮らし体験ツアー (森の校舎カタクリ)
- 11/24まで 三島の遺跡展 (交流センター山びこ)
- 11/28 女子会 (からんころん)【裏面参照】
- 12/6～7 田舎暮らし体験ツアー (交流センター山びこ)
- 1/15 サイノカミ (各地区)



## スタッフのつぶやき



日本全国の田舎では都会にはない昔からの様々な伝統文化や、生活の知恵があると思います。でも、ほとんどの中山間地域では過疎化の問題をかかえ、それらの文化や知恵を次世代に伝え続けていくことが難しく、このままでは遠くない未来になくなってしまいます。これってすごく残念なことだと思います。

ところで、先日の三島中学校の文化祭「桐陽祭」で3年生の発表が“神楽”でした。子ども達自身が三島町の伝統文化の一つである神楽をやろうと決めたこと、そして何度もがんばって練習している姿は、見ていてとても嬉しい気持ちにしてくれました。【三浦】

三島町観光協会・観光交流館「からんころん」  
☎0241-48-5000 事務局員：三浦・細堀・栗城  
三島町観光協会のブログ・ツイッター・  
フェイスブックで毎日情報発信中！



# からんころんの女子会

晩秋の頃、今年も女性たちのパーティーを開催します。  
今年はこの5月より「つるのIORI」で働く小松今日子さんによる  
創作パーティーメニューを準備中です。  
“女子”が大好きなチーズや野菜をつかったメニューを考え中とか…。  
グルメとおしゃべりを一緒に楽しみましょう！

今年で3回目となる女子会、お友達を誘ってぜひご参加ください。



- ◆開催日 : 平成26年 11月 28日 (金)
- ◆時間 : 午後7:00 ~ 午後8:30 頃まで  
※ 送迎を希望される方はご相談ください。
- ◆場所 : 観光交流館「からんころん」
- ◆参加費 : 3,000円 (飲食代込)  
(オードブル、11月20日に解禁となるボジョレーヌーボー、ソフトドリンクなど)
- ◆申し込み期限 : 11月24日(月)まで  
※ 準備の都合上、期限内にご連絡ください。

三島町在住の20歳以上の女性の方であれば、どなたでも参加いただけます。

参加の申し込み・問い合わせは、三島町観光協会(電話48-5000)まで。

## 小松今日子さんプロフィール

今年5月より早戸地区にある、つるのIORIに勤務。平成24年東京で開催された「ふくしま大交流フェア」で佐久間建設工業との縁が生まれ三島町へ。福島は5才から短大卒業までを過ごしたゆかり地でもある。出身地の横浜市では栄養士・調理師として働き、企業の社内食堂や社員クラブなどで、ランチや会合などの仕出しメニューづくりを経験。このスキルを生かし、働きながら三島町での開業を構想中。新たに始める店は人々が気軽に集える場所にしたいと考えている。

三島町観光協会

担当: 栗城、細堀

